

曲目

1部

日本のわらべ唄

祭花

童曲・とんぼのめがね他
・崖の上のポニョ
・となりのトトロ

まゝの川

風のモザイク

鶴の恩返し

2部

茶音頭

横笛(琵琶)

教師披露曲
光のしづく

木もれび

3部

民謡 坂井重人

演歌 林蔵之介

フラダンス 松井宏美

元禄花見踊

特別出演

琵琶 荒井姿水

尺八 小栗松山

歌 林蔵之介

賛助出演

江雲会・都友会・鈴慕
会新潟第一支部・石州
流怡溪会静閑会・若泉
流須実栄会

友情出演

ひおうぎの会・県庁尺八ク
ラブ・小島慎二・なおさい
とう・バンドエイド・坂井
重人・松井宏美・木の芽の
会・朗読の会「雲雀」・詩
吟神風流千樹会・吟剣詩舞
道御臺会・相川瞳・猿橋中
学校選択和楽器・聖籠中学
校選択和楽器

司会 酒井公子

プロデュース 小竹敏夫

後援

新発田市・新発田市教育委
員会・聖籠町・聖籠町教育
委員会・新発田市文化団体
連合会・新発田市社会福祉
協議会・新発田市ボランティア
ア連絡協議会・財新新潟市音
楽芸能協会・新潟市三曲連
盟・生田流箏曲箏囃会・新
潟日報社・読売新聞新潟支
局・産経新聞新潟支局・BS
N新潟放送・NST新潟総合
テレビ・TENYテレビ新
潟・UX新潟テレビ21

生田流箏曲翔祐会新発田支部 七周年記念演奏会

日時

平成二十一年

八月九日(日)

開場十二時 開演十二時三〇分

会場

主催

料金

新発田市民文化会館
生田流箏曲翔祐会

前売 二〇〇〇円

当日 二五〇〇円

学生 一〇〇〇円

問い合わせ先

坂田翔祐

080-2066-0577

学生 一〇〇〇円

生田流箏曲翔祐会の新発田教室を開いて、早いもので七年がたちました。一昨年は新潟市・聖籠町のご後援をいただき新潟において「翔祐会二十五周年記念演奏会」を開催いたしました。私自身も新発田に移り住んで七年、邦楽に携わってきた一人として、また、翔祐会として一層の精進を重ねていく一環として「翔祐会新発田支部七周年記念演奏会」を開催する運びとなりました。

さて、昨今、日本の文化も洋風化し日本の古来から受けつながられてきた文化や心が薄れてきているように思えます。そのような中に、少しでも日本の文化を次の世代に引き継いでいってほしいという思いから猿橋中学校、聖籠中学校をはじめ市内の小学校等で邦楽授業の講師を引き受けさせていただいております。また、この度、文化庁の委託事業である「伝統文化こども教室」を開設することになりました。私は箏曲という日本文化の伝承も現在の文化の中に箏という楽器を活かし育てていくものと考えております。したがって、この度の演奏会も演歌・民謡・詩吟・朗読等とのセッションをこころみております。どうか多くの皆さまからお運びいただきますようお願い申し上げます。



生田流箏曲翔祐会
主宰 坂田翔祐



薩摩琵琶錦心流中谷派裏水
荒井姿水

6歳より父中谷裏水に琵琶の手ほどきをうけ、後、古典を松田正邦に師事。NHK邦楽技能者育成会13期に入学、現代邦楽を杵屋正邦に師事。

1980年日本琵琶音楽協会主催コンクールにおいて第1位入賞、文部大臣奨励賞、NHK会長賞。中谷裏水没後、薩摩琵琶錦心流中谷派裏水会を設立、現在に至る。

1999年6月、「琵琶で語る平家物語」で新潟県各地を公演する。

恒例の活動として、横浜三溪園主催の「観月会」、鎌倉鶴ヶ岡八幡宮主催奉納琵琶会、北鎌倉東慶寺主催「荒井姿水琵琶の会」、開祖中谷裏水を偲んでの毎年主催する「裏水祭」など、国内外で演奏活動をしている。



日本クラウン

林蔵之介

2005年「妻よ」それは昭和の初め頃」でデビュー

2007年「堀部安兵衛」「夕映えの虹」新曲発売

2008年 新潟日報ひと彩に芸能欄と掲載

2009年 社会法人日本歌手協会のオーディション合格関西放送「演歌百選」に二回出演

今年も演歌百選に出演と、毎年中野サンプラザなど大きいステージにも出演させていただき、施設を慰問し、歌い手として本当の喜びを見つけることができ感謝しております。これから林蔵之介が歌手として持っている味を精一杯出し切っていきたいと思

います。



新都山流尺八大師範
小栗松山

東京電機大学尺八部 神野生山に師事
二代目小池玲山・玲リン会会員
八王子三曲連盟副会長
国立三曲・市川三曲会員

「アルファー会」「まきむくの会」主催
1998〜2000年、ネパール、シンガポール
2002年、ソウル国際音楽会等に参加尺八、横笛、笙、鼓等打楽器演奏



司会 酒井 公子

川中島放送局長

この度、新発田市、聖籠町をはじめ新潟市三曲連盟、石州流怡溪会清閑会近藤社中、新邦楽舞踊若泉流須実栄会、民謡日本一の坂井重人氏等の皆さまのご協力により翔祐会演奏会を開催できる運びとなりました。また、この度の演奏会は福祉チャリティーとして開催いたします。これは、この度の主催者である坂田翔祐が平成十八年のチャリティーコンサート「オカリナと箏の調べを」に奏者として出演した際、そのコンサートの成功に向けて協力され奮闘されていた次男の阿部真裕氏（当時、知的障がい者福祉施設「日和山作業所」所長）が演奏の直前に倒れ帰らぬ人となってしまいました。同じ会場で開催される演奏会への主催者の強い思いから「福祉チャリティー」とさせていただきます。趣旨をご理解いただきご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。